



大森 正治 議員

国保の税額は

町長

試算では県平均以下である

【大森】来年度からの国保の県内一本化に向けて、県は国保運営方針の策定作業を進めている。

試算では、本町の国保税はいくらになるか。

【町長】一人当たり11万4千円で、県平均の12万1千円より少し安い。

【大森】確定時に現行より上昇した場合どう対応するのか。

【町長】激減緩和措置で対応する。

【大森】国保税の算定で、資産割を除き、均等割から子どもを除くよう見直さないか。

【町長】どちらも不公平感がある。

前者はこれを除くと所得のある人には負担が増える。

後者は全国知事会が軽減するよう要望している。

就学援助の充実を

教育長

入学前支給は検討する

【大森】子どもの貧困の解消をはかる方策の一つが就学援助制度である。2倍に増額された入学準備金の支給を、必要な時期の入学前にしないか。

【教育長】実施を前提に、細かい課題を調査・研究していく。

【大森】制度充実のため、援助の項目や額を増やす考えはないか。

【教育長】現状は充実しているので、考えてない。

【大森】PTA会費などの支給は考えてないのか。

【教育長】PTA会費は学校ごとに額に差異があり、考えてない。



入学時には多額の出費がある

廃棄物処分場の今後は

町長

分けて議論が必要である

【大森】淀江に計画中の産業廃棄物最終処分場についての認識は。

【町長】他の自治体のことに意見を言う立場にない。

【大森】隣町なので、将来、海の汚染や大気汚染など影響が心配される。

当地は将来の一般廃棄物最終処分場として、開発協定が結ばれている。産廃処分場に反対すべきではないか。

【町長】二つの処分場の是非は分けて議論を。過去の協定は、社会情勢に応じて合意形成をはかることも大切である。



満杯間近の一般廃棄物最終処分場